

平成 29 年 11 月 22 日

テルモ株式会社 助成金採択決定

本学国際日蓮学研究所 仏像制作修復室の事業が、テルモ株式会社 芸術文化支援(協賛)活動助成事業として採択され、下記のとおり助成金が交付されました。

記

テルモ株式会社 芸術文化支援(協賛)活動 TERUMO Arts & Crafts Project(2016 年度)

助成事業名 「『仏像彫刻の基礎』教材映像化プロジェクト」

助成金額 100 万円

助成事業の概要

「『仏像彫刻の基礎』教材映像化プロジェクト」は、仏教美術の中心をなす「仏像彫刻」を、大学の授業(講義)の一環として、学生に仏像彫刻の基礎から教育し、実際に彫刻させることにより、仏像彫刻ひいては仏教美術、伝統工芸への興味と造詣を深めることを目的とします。

具体的には、半期(2単位・15 回)の講義のうち、前後合わせて5回を「仏教彫刻の基礎」と「まとめ」に充て、10 回にわたって実際に仏像を彫刻します。ここでの仏像彫刻では楠(クスノキ)や桧(ヒノキ)を主に用いた「木彫」とし、すでに作成済みの石膏原型を元として、木材への型の写し取り、荒彫り、仕上げ彫り、彩色までを体験します。なお、全くの初心者でも彫刻が可能ないように、仏像の仕上がりは手のひらに載せられるほど(幅・奥行 10cm、高さ 20cm 程)の大きさを想定しています。

ここで必要となるのが「教材」ですが、「彫刻」の方法を指導するにあたっては、文章ではもちろんのこと、図版や写真を用いたとしても、それが立体物であるために正確に伝えることには困難が伴います。そこで、その教材を「映像化」するプロジェクトを立ち上げたわけです。当修復室の柳本伊左雄室長が、あらかじめポイントの解説を交えながら彫り進め、完成させるまでの手順をビデオ撮影し、大まかに 10 工程に分けて適宜編集の上、各授業のはじめに上映することにより、彫刻の方法や意味合いを正確に、かつ理解しやすく学生に伝えることができます。また、当大学では学生一人ひとりがタブレット端末を所持していますので、授業の途中や終了後にも、何度でもその映像を視聴・確認し、習得度合いを高めることができます。

この授業を修めた学生は、実際に「仏像を彫刻する」という体験を通して、仏教美術に対する理解・造詣を深めることができ、ゆくゆくはこのうちの幾人かが仏師として仏教美術を継承し、後継者として育つことまでを視野に入れていきます。

(以上、申請書より一部抜粋)

芸術文化支援(協賛)活動 TERUMO Arts & Crafts Project について

日本の伝統工芸は、世界遺産に登録されるほど世界的に希少性の高いものが多く存在しますが、工芸の本来の用途減少や後継者不足などにより存続が危ぶまれるものも少なくありません。国内外から日本古来の文化に対する関心が高まっているものの、その制作の現場は厳しく、社会における新たな存在の在り方が求められています。

テルモでは日本の伝統工芸の未来をサポートいたします。

(以上、株式会社テルモHPより一部抜粋)

テルモ株式会社HP <http://www.terumo.co.jp/>

芸術文化活動(メセナ) <http://www.terumo.co.jp/company/mecenat/support.html>

助成先一覧 <http://www.terumo.co.jp/company/mecenat/list.html>

以 上